

米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭
ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2022
 5500点以上の応募から選ばれた約200点のノミネート作品発表！
 最新アカデミー賞受賞作品や、コリン・ファース出演作など
 日本初・特別上映作品のラインナップにも注目

本日先駆けてオープンするオンライン会場では
 濱口竜介監督に続く「今注目の日本人監督」13名のショートフィルム特集および
 AIによる脚本から生まれた『少年、なにかが発芽する』を世界一斉配信！！
 VR空間「DOOR」シアターでのバーチャル映画館体験も本日スタート

米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（略称：SSFF & ASIA）2022の各部門ノミネート作品および特別上映作品を本日、映画祭公式サイトにて発表いたしましたのでお知らせいたします。
<https://www.shortshorts.org/2022>

今年の映画祭は6月7日（火）のオープニングセレモニーを皮切りに、6月20日（月）のアワードセレモニーまでの期間を東京の複数会場で開催。先駆けて、本日4月28日（木）からはオンライン会場もスタートします。
 今年のテーマ「Meta Cinema～超える・見つける・始まる」を体現すべく、オンライン会場オープニング作品の一つには、日本では初となるAI脚本家によるショートフィルム『少年、なにかが発芽する』が登場。同じく本日から、VR空間「DOOR™」シアター supported by NTTでのバーチャル映画館もスタート。

本日オープンした映画祭特設サイトでは、世界126の国と地域から集まった5,720点の中から選びぬかれた約200作品がノミネート作品として発表されました。アカデミー賞につながるオフィシャルコンペティション supported by Sonyのジャパン部門には、黒木瞳さん、前田敦子さん、玉城ティナさんなど俳優でありながら監督にも挑戦したショートフィルム作品が見事ノミネートしています。

また、今年の映画祭の特別上映作品として、コリン・ファースがコロナ禍のエンタメ業界復興をテーマに制作参加した『閉塞』、アカデミー賞短編ドキュメンタリー部門受賞の『バスケの女王』、韓国の新鋭女性監督パク・チワン（「ひかり探して」）による『ハイスクールガールズ』、「ブラック・スワン」のダーレン・アロノフスキーがプロデュースするロボットミームを描くアニメーション『ヴァンダル』など日本初公開となる秀作が勢ぞろい。

更に、ベルリン、アカデミー賞と世界の映画祭を賑わす濱口竜介監督に続くべく「今注目の日本人監督」13名によるショートフィルム特集も本日よりオンライン会場にて世界に向けて一斉配信となりました。

なお、一部の賞は映画祭に向けて事前発表および6月7日（火）のオープニングセレモニーで発表されるほか、オフィシャルコンペティション supported by Sony優秀賞およびジョージ・ルーカスアワード（グランプリ）は6月20日（月）のアワードセレモニーで発表いたします。

インターナショナルプログラム特別上映作品



『閉塞』監督：Giorgio Testi
 イタリア/8:40/ドラマ/2021

ノンフィクションプログラム特別上映作品



『バスケの女王』監督：Ben Proudfoot
 アメリカ/22:03/ドキュメンタリー/2021

3D空間DOORシアターVR特別上映作品



『オデッセイ』監督：François Vautier
 フランス/7:51/VR/2019

アニメーション部門特別上映作品



『ヴァンダル』監督：Eddie Alcazar
 アメリカ/15:38/アニメーション/2021

4月28日～世界配：オンライン会場オープニング作品



次の濱口竜介監督は誰か！？
 13名の今注目の日本人監督特集

アジア部門特別上映作品



『ハイスクールガールズ』監督：PARK Ji-wan
 韓国/15:47 /ドラマ/2008

SSFF & ASIAは、東京都と連携し、「国内外の人々が東京を訪れたいくなる」企画：多彩な「東京」の魅力発信するプロジェクトとして、東京をテーマにしたショートフィルムを世界から公募する「Cinematic Tokyo部門」を2016年設立。
今年も様々な「東京」が表現された作品が選出され、本日、ノミネート作品ウェブサイトにて発表となりました。映画祭期間を通じて配信・上映および優秀賞（東京都知事賞）が発表されます。また、日本のクリエイター支援を目的に今年の映画祭テーマ「Meta Cinema」と連動したオンラインのセミナーイベントも開催いたします。



Cinematic Tokyo部門上映作品（ピックアップ） ※5月19日（木）～配信開始



『Tokyo Rain』

監督：Michel Wild

スイス / 12:07 / ファンタジー / 2021

オンライン

リアル

東京を襲う大雨。マサヒロは一人で残業しながら、心配する妻と電話をしている。パソコンでの単調な事務作業が続き、居眠りしてしまうマサヒロ。恐ろしい悪夢を見て目を覚ますと、全てが以前とは変わっているように見える。

ONLINE クリエイターズセミナー 「ニューロサイエンス×AI×ショートフィルムの未来」 6月18日（土）20:00～

日本のクリエイター支援を目的に毎年実施しているオンラインセミナー。

今年は映画祭テーマ「Meta Cinema～超える・見つける・始まる」と連動し、最先端技術がもたらす新たな映画制作の可能性を探ります。

第一部は「ニューロサイエンスによる映像評価～生体データによる映画作品分析について」。

ショートフィルム視聴中の脳波・視線等の生体データを総合的に分析し、クリエイティブに活かします。

分析により映画のストーリーや画面の構成にどんな影響を与えるのかなど、実際に、ショートフィルムを視聴して検証し、その活用の可能性を議論します。

第二部は「ストーリー生成AI～人工知能により生成される脚本について」。

AIの技術がどう、脚本作りをサポートしてくれるか、研究者が解説。一つのストーリー案ではなく、AIがいくつかのパターンを提案するなど、人間（脚本家）のクリエイティブを奪うのではなく、効率的に脚本家にとっていい環境、いい作品（ストーリー構築）を目指します。また、AIが映画産業にもたらす未来予想図を話して頂きます。



脳波分析の題材となった、SSFF & ASIA 制作作品『しゃばしゃバスピリット』

（監督：Yuki Saito/10:32/2015/日本）

※映画祭YouTubeで配信中



第一部講師：
有限責任監査法人
トーマツ デロイトアナリティクス
マネジャー
福島誠氏

オンライン会場オープニング作品①



株式会社Alesが開発したストーリー生成AI「フルコト」による脚本からショートフィルム化された『少年、なにかが発芽する』

（監督：渡辺裕子/26:15/2021/日本）
※4/28より映画祭オンライン会場で配信中



第二部講師：
東京大学
次世代知能科学研究センター 教授
松原仁氏

日時：6月18日（土）20：00～

料金：無料

参加方法：映画祭ウェブサイトより視聴および視聴のリマインド設定が可能

<https://shortshorts.org/2022/event/creators-seminar/>

講師：第一部 有限責任監査法人トーマツ デロイトアナリティクス マネジャー 福島誠氏

第二部 東京大学 次世代知能科学研究センター 教授 松原仁氏 ※講演内容は、今後変更となる可能性があります。

4月28日～先行スタート！オンライン会場オープニング作品②



ベルリン、アカデミー賞での快挙を経て、世界から熱い注目を浴びる濱口竜介監督に続くのは…？

SSFF & ASIAでこれまでノミネート＆受賞してきた監督たちの中でも、長編デビューや海外映画祭での入賞を果たすなど、今最も注目の日本人監督 13名のショートフィルム作品 21点を集集し、世界に向けて配信いたします。

参加監督：奥山大史 / 落合賢 / 齋藤俊道 / Yuki Saito / 中江和仁 / 中村真夕 / 針生 悠伺 / 平林勇 / 藤井道人 / 真壁幸紀 / 松居大悟 / HIKARI / 藪下雷太 (五十音順)

各コンペティション、スペシャルプログラムから注目作品をご紹介します！

5500点以上もの応募があったコンペティション。

世界の今、社会の今が映し出される作品の数々。今年多く見られたのは、コロナ禍、制限の多い環境における家族関係・対人関係・労働環境の変化を描いた作品でした。

アニメーション部門にはライブアクションでは表現できない人間の孤独や葛藤をオリジナルな手法で描いた大人向けの作品も多くみられ、ノンフィクション部門には環境問題や人種問題など社会的メッセージの強い作品のほか、ある一人の人物にフォーカスをあてその個人的なストーリーから新しい発見をもたらす作品も多く見られました。

オフィシャルコンペティション supported by Sony (インターナショナル/アジア インターナショナル/ジャパン) 6月4日配信開始

【インターナショナル部門 特別上映】



コリン・ファース×イタリアの名優 ステファノ・アコルシ
コロナ禍からのカルチャー復興へ熱いエール

オンライン
リアル

『閉塞』(Chiusi Fuori)

監督：Giorgio Testi / イタリア / 8:40 / ドラマ / 2021

ステファノ・アコルシがリハーサルの直前舞台上立つと、突然辺りは暗くなり劇場が空っぽに。扉には鍵がかかり、スタッフは何処へやら。何が起こったのか理解できないステファノの前でセットが突然変わり、今度は衣装を身につけ俳優のコリン・ファースと舞台上立っているではないか。情緒あふれる月夜の下で台詞を交わし合う二人。研ぎ澄まされた空気が二人を包むが、魔法は突然解けステファノは現実世界に戻る。

【アジア インターナショナル部門 特別上映】



韓国の新鋭「しあわせを探して」のパク・チワン監督による
女性の生きざまを描くショートフィルム

オンライン
リアル

『ハイスクールガールズ』(High School Girls)

監督：パク・チワン / 韓国 / 15:46 / ドラマ / 2008

女子高生のA、B、C、DとEはポーカーで遊んでいる。テストの点数の事で口論するSとT。Yは教育実習の先生と奇妙なひとときを過ごす。彼女たちの過ごすこの一瞬は誰もが通ってきた道なのだ。

香港初のカンヌ映画祭パルム・ドール受賞
NY大学在学中の学生による作品

オンライン
リアル

『カラスたちの夜』(All the Crows in the World)

監督：Yi Tang / 香港 / 14:00 / ドラマ / 2021

18歳の主人公シヨナンはいとこに誘われちょっと不思議なパーティーに参加する。参加者の大半は油ぎった中年男性だが、ジエンゴだけは違う雰囲気醸し出していた。

【ジャパン部門 特別上映】



小川紗良さん主演
HOPPY HAPPY AWARD 受賞監督による
特別制作作品

リアル

『犬島犬子』(INUJIMA INUKO)

監督：大門 嵩・ 祁答院 雄貴 / 日本 / 21:53 / ドラマ / 2022

岡山にある小さな島、犬島に住む星砂は、島の写真をSNSに投稿し続けている。ある日カナダで生活をしている日本人女性ははるのからSNSを通じて『思い出の犬島の風景を見たい』と頼まれ、その風景を探すことになるが…

★ジャパン部門入選★ 黒木瞳監督『線香花火』 前田敦子監督『理解される体力』 玉城ティナ監督『物語』



【アニメーション部門 特別上映】 6月4日（土）～配信



「ブラック・スワン」のダーレン・アロフスキーがプロデュース
ロボットミーが主人公となる実験的なアニメーション作品

オンライン

リアル

『ヴァンダル』(The Vandal)

監督：Eddie Alcazar / アメリカ / 15:38 / アニメーション / 2021

男はロボットミー手術（前頭葉切断術）を受け、回復中であった。そんな矢先に介護者でもある最愛の妻を亡くし、精神が錯乱する。



デジタルハリウッド主催 デジタルフロンティア
グランプリ2022 ベストアニメーション賞受賞

オンライン

リアル

『FRANK THE PIG』

監督：今福洋志 / 日本 / 9:06 / アニメーション / 2021

おしまいだ。大仕事に失敗したフランクはもうじき消される。残された時間をモーテルで潰す彼はあえていつも通りだらしく過ごしてやろうと考えていたが、歌手志望の娘と偶然出会ったことにより生への執着を取り戻していく。

【ノンフィクション部門 特別上映】 6月4日（土）～配信



2022年アカデミー賞短編ドキュメンタリー部門受賞
女子選手で唯一NBAからドラフト指名を受けた選手の物語

オンライン

リアル

『バスケの女王』(The Queen of Basketball)

監督：Ben Proudfoot / アメリカ / 22:03 / ノンフィクション / 2021

ルシア「ルーシー」ハリス、女子バスケ初のオリンピックの試合で初ゴールを決めたプレイヤーだ。彼女は唯一女子選手でNBAからドラフト指名を受けた選手でもある。輝かしい経歴を持つ彼女の名は、1月18日に突然この世を去った今も無名のままだ。



「タクシー」のジャファル・パナヒ監督がスマートフォンで撮影

オンライン

リアル

『隠された歌声』(Hidden)

監督：Jafar Panahi / フランス・イラン / 18:20 / ノンフィクション / 2021

本作監督のジャファール・パナヒが、イラン政府から歌うことを禁止された黄金の歌声を持つ女性を探す。

【スマートフォン映画作品部門 supported by Sony's Xperia (ピックアップ)】6月4日（土）～配信



シリアの戦禍、自宅の屋根から撮影
スマートフォンがとらえた迫真のドキュメンタリー

オンライン

『空のない街』(A city without sky)

監督：Zain Issa / シリア / 5:38 / ノンフィクション / 2021

故郷や家族に思いを馳せつつ、数時間後の自分が生きているのかすらわからない、紛争下に暮らす青年の日常目線。

【U-25プロジェクト (ピックアップ)】5月26日（木）～配信



映画祭史上最年少10歳の監督作品がノミネート

オンライン

リアル

『ペイドマン』(Boy pays for the fight)

監督：岡太生 / 日本 / 05:00 / コメディ / 2021

ヒーロー好きの小学生タカシ。彼のもとに届いた謎のスーツを着ると聞こえる最新型AIペイトNo.60の声。待ち受けていたのは謎の男。憧れのヒーローのように戦う時がきたのだ。正義のための悲しき力、現代科学を支戦士ペイドマン。

世界のフィルムメイカーが描くSDGsの先、Regeneration (リジェネレーション/再生) の物語

SSFF & ASIAは、「地球を救え！環境大臣賞」や同J-WAVEアワードのほか、「戦争と生きる力」や「ダイバーシティ」「Ladies for Cinema Project」といったSDGsにつながるメッセージを、世界のクリエイターたちによるショートフィルムを通じて発信してきました。今年作品群からは、SDGsのその先へ、地球を、世界を、社会を、より良い場所にしていくための具体的なアクションを訴えかける原動力となる物語が描かれる作品に注目ください。
※「地球を救え！環境大臣賞」および「地球を救え！J-WAVEアワード」は6月5日環境の日に受賞発表、オープニングセレモニーにて賞の授与が行われる予定です。

【Shibuya Diversityプログラム (ピックアップ)】5月19日(木)～配信



人種、宗教、移民、LGBTQ…
世界のDiversityを考えるドラマの数々

オンライン
リアル

『ラッキーフィッシュ』(Lucky Fish)
監督：Emily Jampel/アメリカ/8:24/ロマンス/2021

中華料理店でそれぞれの家族と夕食をとる、2人のアジア系アメリカ人の少女たち。二人はレストランのトイレで出会い…

【Ladies for Cinema Project (ピックアップ)】5月26日(木)～配信



世界の女性フィルムメイカーを応援するプロジェクト
日本の同性婚を描いた作品

オンライン
リアル

『ベール』(Veils)
監督：なかやまえりか/日本/18:02/ドラマ/2021

あゆみ(28)と紗香(28)は、交際5年の記念に結婚写真を撮ろうとしている。『LGBTQ対応可』のフォトサロンに問い合わせるが、届いた返答に落胆と怒りを隠せない。2人の幸せが満たされる場所はあるのか。

【戦争と生きるカプログラム supported by 赤十字 (ピックアップ)】6月4日(木)～配信



戦争という圧倒的な暴力の中にいる人々に寄り添う
赤十字がお届けするプログラム
今こそ、世界中の生きる力にエールを送ろう！

オンライン

『ステレオタイプ』(Stereotype)
監督：Nahyun Beak, Dahyun Beak/アメリカ・韓国 /11:00 /アニメーション/ 2021

戦争は落ち着いても、闘いは激しさを増すばかり。

【国境なき医師団×SSFF&ASIA オンライントークイベント】5月25日(水) 20:00～



©Antonio Faccilongo/MSF



©Larry Gumahad/MSF
末藤 千翔 (すえふじ ちか) 氏



別所 哲也

生きるために移動を強いられる人びとのいま
—世界のいまを伝える映像の可能性

日時：2022年5月25日(水)20:00～
オンライン・無料

ゲスト：国境なき医師団 プロジェクト・コーディネーター
末藤千翔

SSFF & ASIA代表 別所哲也

リマインド設定のお申し込み：

<https://shortshorts2022spaceo0612event.peatix.com>

国境なき医師団 (MSF) プロジェクト・コーディネーターの末藤千翔氏と、SSFF & ASIA代表の別所哲也が、ロヒンギャやシリアなどの難民についてトークを展開。生きるために移動を強いられる人びとの現実に焦点を当て、人道危機とそこに生きる人々の声、世界のいまを伝える映像の可能性についてディスカッションします。

地球を救え！環境大臣賞・J-WAVEアワード候補作品：6月5日(日) 環境の日に賞を発表

左より：『ベントハウス』(Vegard Dahle & Line Klungseth Johansen/ノルウェー) 『迷惑なクマ』(Jack Weisman & Gabriela Osio Vanden/カナダ) 『未来への贈り物』(Shamir Raiapov/キルギスタン) 『雨乞い』(Adam Finney/オーストラリア)



今年はVR作品も登場！ 4月28日（木）～2週間ごとにラインナップを更新
 NTTが提供するVR空間プラットフォーム[DOOR™]※1の中で
 世界各国の映画祭で受賞歴のあるショートフィルムとVRSHORTS※2を同時配信。
 今年のテーマである[Meta Cinema～超える・見つける・始まる]を是非DOORでご体感
 ください。

※1 DOORはNTTの商標です。DOORはNTT XRの取り組みの一部です。
 ※2 VRSHORTSはDOOR空間内設置の外部リンク、またはスマートフォンアプリ
 (REALIVE360)よりお楽しみいただけます。
 今年のテーマである「Meta Cinema～超える・見つける・始まる」をぜひDOORで体験し
 てください。 <https://door.ntt/JZQpuje/ssffa2022>



【DOORシアター上映ラインナップ（ピックアップ）】

VRショートフィルム『オデッセイ 1.4.9』(ODYSSEY 1.4.9)

監督：François Vautier/フランス/7:51/ドラマ/2019

スタンリー・キューブリックの「2001年宇宙の旅」にトリビュートされた作品。キューブリックの
 名作の裏に隠された真実を描く。

そのほかのプログラム&イベント

【キッズプログラム（ピックアップ）】 5月5日（木）～配信

**ハンダイアローグ作品を中心に
親子で世界に触れるプログラム**

オンライン
リアル



『エドガーとキツネ』(Fox for Edgar)

監督：Pauline Kortmann/ドイツ/7:43/アニメーション/ 2021

エドガーの両親はスマホやパソコンに夢中で我が子に無関心。森へ一人遊びに
 出かけたエドガーは不思議なキツネと出会う。エドガーの両親が我が子の不在に
 気がつくまでキツネはエドガーの遊び相手となる。

**ITSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズでのキッズプログラム上映会に『こまねこのおるすばん』作者の
 合田経郎さんが登場！ 6月17日（金）13:30～の上映回にて**



©TYO/dwarf・こまねこフィルムパートナーズ



合田 経郎

xpdドワーフのディレクター・キャラクターデザイナー。CMディレクターとして演
 出家のキャリアをスタート。NHKキャラクター「どーもくん」が人気を博し、活
 躍のフィールドをアニメーションへと広げる。その後アニメーション作家へと転
 身。絵本、イラストをはじめ、創作活動は多岐に渡る。

『こまねこのおるすばん』(Komaneko, Home Alone)

監督：合田 経郎/日本/7:33/アニメーション/ 2013

ある晴れた日。おじい様はこまを一人家に置いてお出かけ。心配でたまらない
 おじい様をよそに、お留守番を楽しむこま。うまくお留守番ができたなら、おじい様
 は喜んでくれるかな。こまは張り切って過ごします。

※オンライン会場では、合田監督による『こま撮りえいがこまねこ 一ほんとうのともだち』『モリモリ島のモーグとペロル』『とうと きょう』も配信

企画コンペから生まれたミュージカルショートフィルムが完成！ SSFF & ASIA 2022で世界初公開

オンライン
リアル

6月4日（日）～配信開始

国内に留まらず世界へ日本のエンターテインメント
 コンテンツを発信し続ける株式会社アミューズと共に、新たな
 才能の発掘と支援を目的とした
 ショートフィルムの企画を「ミュージカル」をテーマに全世界を対
 象に公募しているプロジェクト。
 2020年に選ばれた優秀な企画から、2作品の
 ミュージカルショートフィルムが完成しました。



Bradley Porter監督『Sleep Singing』 / Jake Kuhn監督『Flaws』

【ゲーム映画プログラム (ピックアップ)】 5月26日(木)～配信



ゲームエンジンを利用したアニメーションや
ゲームの世界を映画化した作品をセレクト上映

オンライン
リアル

『ノグチの鈴：エピソード2』(Noguchi's Bell Episode 2)
監督：Michael Pachidamrong/タイ/20:17 /アニメーション/
2022

古代の戦士や最新型のロボット、伝説の生き物などが暮らす未来的ディストピア。反逆者を残虐に抑圧する王が権威の座につく。王の前に現れたのは奇妙な鈴を持った一人の侍。

【ジャパンフォーカスプログラム (ピックアップ)】 5月5日(木)～配信



ジャパン部門ノミネート以外にも紹介したい
作品多数！
日本の素晴らしい才能を特集

オンライン
リアル

『#love_delusion「東京にいる君から」』(#love/delusion from in you Tokyo)

監督：松本花奈/日本/ドラマ/17:37/ 2020

数々のタイムラインを湧かせてきたカツセマサヒコの恋愛妄想ツイートが遂に映像化！140文字からさらに妄想を膨らませたストーリーが展開されます。彼氏視点のツイートを、彼女視点から描きます。

アクティビティーコート併設するサイクルカフェ「TORQUE SPICE & HERB, TABLE & COURT」で屋外上映&カフェ上映！

「サイクリストフレンドリー」をコンセプトに、自転車通勤をするワーカーをサポートし、趣味や興味を通じて交流できる新たなスペース「TORQUE SPICE & HERB, TABLE & COURT」に併設のアクティビティーコートで、ショートフィルムの屋外上映会を開催。また、体を内側から磨き、代謝を高めていく(インナーサイクル)場として『スパイス&ハーブ』をテーマとしたメニューを提供するカフェ内のビジョンでも上映を予定しています。



日時：屋外上映会 6月10日(金)、11日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日) 19:30～21:40

※荒天時はカフェ内でのみの上映

会場：TORQUE SPICE & HERB, TABLE & COURT (東京都渋谷区渋谷3-21-3 渋谷ストリーム4階)

料金：無料 (カフェ利用時は別途費用がかかります。)

映画祭アンバサダー LiLiCoさんよりコメント



ショートショートフィルムフェスティバル&アジアの時期はいつもより“ハッピー”を感じます。

毎日萌えます！

それは新しい才能を持ったクリエイターと長編映画とは一味違ったストレートなメッセージに出逢えるからです。

コロナ禍で映像制作にハマった方も多く、一年を通していろんな声が聞こえて来ます。

毎年驚くほど斬新な作品もあって、そして普段は味わえない地域の文化にも触れ合えることが最高の贅沢。

堅苦しく勉強するよりも数分の間に世界を知ることが出来ます。

それが短編の大きな魅力。

さあ、今年もショートフィルムの旅に出ましょう。

映画祭オフィシャルSNSナビゲーターが決定！映画の目利きならではのおススメを紹介

映画レビューをはじめ、個性&魅力あふれる情報を紹介し活躍中のSNSインフルエンサーが映画祭のオフィシャルSNSナビゲーターに就任！数ある作品ラインナップの中から、おススメのショートフィルムを紹介していきます。



いい映画と出会おう。

左より：さかい / 映画紹介TikToker (TikTok) / DIZ (Twitter) / ミヤザキタケル (Instagram) / ゆっこロードショー (YouTube) / Filmarks

【部門・アワードの構成】

【公募部門】

● オフィシャルコンペティション supported by Sony

「テクノロジーに裏打ちされたクリエイティブエンタテインメントカンパニー」として、クリエイターの夢の実現を支援するソニーグループ株式会社が、翌年のアカデミー賞短編実写部門への推薦につながるオフィシャルコンペティション（インターナショナル部門、アジア インターナショナル部門、ジャパン部門）をサポート。<https://www.shortshorts.org/sony/>

● スマートフォン映画作品部門 supported by Sony's Xperia

スマートフォンで撮影した25分以内のショートフィルムを世界から公募。ソニーの最新技術が搭載されたスマートフォン Xperiaのサポートのもと、クリエイターの表現の幅とチャレンジの機会をさらに広げ、スマートフォンならではの新しい映像クリエイティブの創出を目的として設立されました。

● アニメーション部門

デジタルハリウッド株式会社とのコラボレーションにより、2011年にスタートしたCGアニメーション部門が今年から対象を拡大！CG、ストップモーション、手描きなどあらゆるジャンルのアニメーションを世界公募。本部門の優秀賞を受賞した作品は、次年度米国アカデミー賞短編部門ノミネート候補作品となります。

● ノンフィクション部門

私たちを取り巻く豊かで多様な「日常」や世の中のあらゆる課題まで、世界中の映像作家が社会や人々の営みを切り取り、作り手の眼を通してメッセージをダイレクトに伝えるノンフィクション映像を特集。

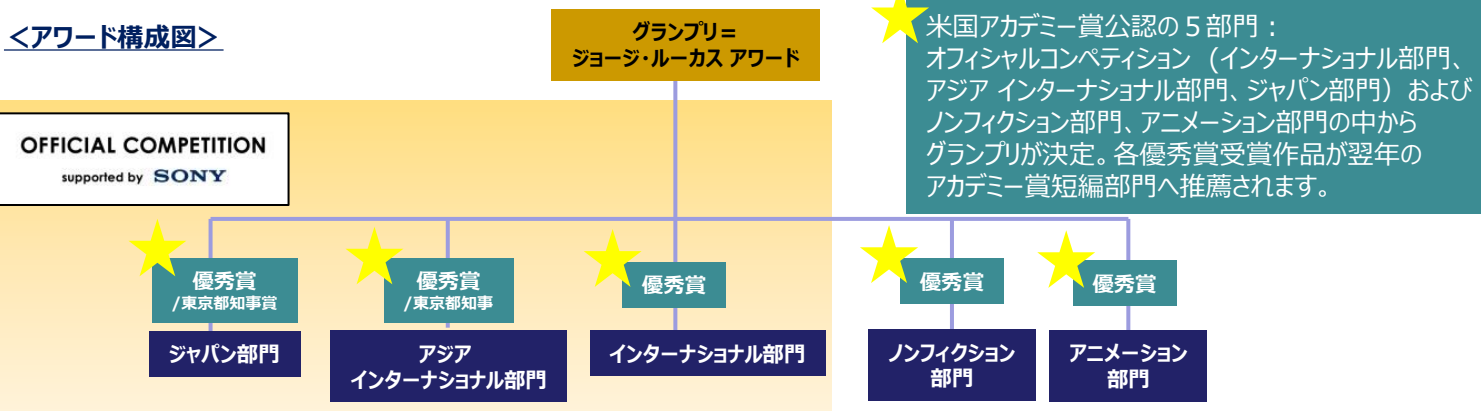
● Cinematic Tokyo 部門 2016年設立。様々な「東京」の魅力を発信するショートフィルムを上映。

● Branded Shorts部門 国内外の企業・団体のブランディングムービーを特集。

● U-25プロジェクト 2019年に設立。将来有望な映像作家の国内外での活躍を応援すべく、国内の25歳までの監督が制作した作品を対象に、5分以下のショートフィルムを公募。

オフィシャルコンペティション supported by Sony 各優秀賞・ジョージ・ルーカスアワード（グランプリ）作品は6月20日（月）に行われるアワードセレモニーで発表となります。また、本映画祭の開催に先駆けて、6月7日（火）には、オープニングセレモニーを開催予定です。セレモニーの概要につきましては別途、取材案内状をお送りさせていただきます。

<アワード構成図>



<そのほかのコンペティション（部門）・公募プログラム>



※コンペティション（部門）以外に、各テーマを表現した最も優秀な作品に下記アワードが贈られます。

- 地球を救え！ 環境大臣賞……地球環境に関するテーマ
- 地球を救え！ J-WAVEアワード……同上のテーマの作品の中からJ-WAVEリスナー審査員が審査
- Shibuya Diversityアワード……ジェンダー、民族、人種などダイバーシティをテーマに描く作品
- 観光映像大賞 観光庁長官賞……国内観光の魅力を表現した映像を映画祭が選定し授与
- バイオジェンアワード……「Make Impossible Possible（不可能を、可能に）」というテーマを力強く伝える作品に授与
- HOPPY HAPPY AWARD……「Be HAPPY with HOPPY」を掲げるホッピーの思いを体現するショートフィルムに贈られる賞
- Deloitte Digital Award……「デジタルと人間らしさの融合」をテーマに5つの指標から特に優れた作品に授与
- MILBON BEAUTY AWARD……上映作品の中から「美しさ」をもっとも表現したショートフィルムに贈られる賞
- オーディエンスアワード……コンペティション作品の中から、各部門ごとに来場者および視聴者の投票で選ばれる観客賞
- ベストアクターアワード……オフィシャルコンペティション作品の中から、優秀な俳優に贈られる賞
- グローバルスポットライトアワード……6月4日以後配信されるコンペティションノミネート作品を対象に、映画祭オンライン会場で最も視聴された作品に対して贈られる賞
- Most Viewed Award……映画祭オンライン会場で最も視聴された作品に対して贈られる賞

【ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2022 概要】

- 映画祭代表：別所 哲也
- 開催期間：6月7（火）～6月20日（月）
オンライン会場は4月28日（木）～6月30日（木）
よみうりランド特別先行開催 4月29日（金・祝）～5月5日（木・祝）

- 上映会場：よみうりランド 日テレ らんらんホール
オープニングセレモニー会場LINE CUBE SHIBUYA
ユーロライブ
表参道ヒルズ スペース オー
TORQUE SPICE & HERB, TABLE & COURT
ITSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ
赤坂インターシティコンファレンス
※開催期間は各会場によって異なります

- 料金：会场上映：無料 ※一部有料イベントあり
4月28日～ チケット販売のオンラインプラットフォーム「Peatix」にて事前申し込みいただけます。
※TORQUE SPICE & HERB, TABLE & COURT会場は一部を除きチケット予約不要です。
※当日の初回上映20分前から先着順に、その日に上映する各プログラムの当日券を配布いたします。
※上映またはイベント開始の10分前から、整理券に記載されたグループ順で入場を開始致します。
- 一般からのお問い合わせ先：03-5474-8844
- オフィシャルサイト：<https://www.shortshorts.org/2022>
 - 主催：ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会
- ※新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、時期または内容を変更する場合があります。



<映画祭ポスタービジュアル>

★SSFF & ASIA 2022 SDGsの取り組み★

SSFF & ASIAでは、チケットやフライヤーといった印刷物の配布を2020年からデジタル化。小さなことからSDGsを実現していく映画祭として展開します。また、引き続き「ダイバーシティ」や「戦争と生きる力」をテーマにしたプログラム展開、「地球を救え！」をテーマに選出されるアワード、Ladies for Cinema Projectなど、映画祭を通じてフィルムメイカーと参加者がSDGsを考えるきっかけを創出してまいります。

【ショートショートフィルムフェスティバル & アジア】

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの思いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創設。2001年には名称を「ショートショートフィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、同年に「ショートショートフィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生し、現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

また、2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となりました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、また、2019年の映画祭より、オフィシャルコンペティション（インターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門）およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品が、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【SSFF & ASIA 2022 ウェブサイト】 <https://www.shortshorts.org/2022>

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショートフィルムフェスティバル & アジア PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内）
担当：滝口（070-1639-9630）、佐藤（080-7352-9161）、武田
TEL：03-6894-3200 / FAX：03-5413-3050 / E-mail：SSFF@ssu.co.jp

ショートショート実行委員会 担当：田中 TEL：03-5474-8201 / FAX：03-5474-8202 / E-mail press@shortshorts.org

【本資料に関する画像については、下記よりダウンロードいただけます】

<https://drive.google.com/drive/folders/1kfavt9mxTmJVHz9CqfgWkJLMC7oWqUrn?usp=sharing>